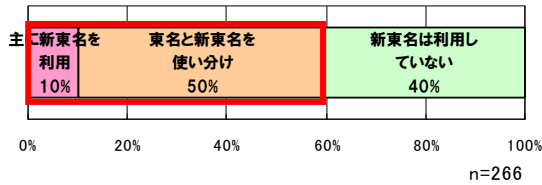


# 1. 静岡県内の道路利用企業におけるアンケート結果について

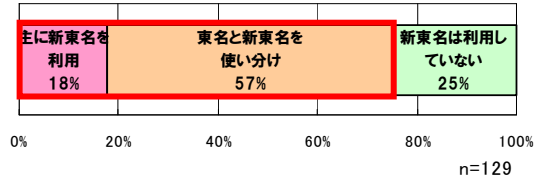
- ・ 製造品等の運搬系企業は約6割が新東名を利用、営業系企業は、約8割が利用し、東名と使い分けがどちらの業態ともに約5割以上となっています。
- ・ 道路に関する満足度は、開通前の調査結果に比べ県内・県外企業とも大きく向上しました。（県内企業：約5割→約8割、県外企業：約6割→7割）

## ■業態別の新東名の利用について

製造品等の運搬系企業

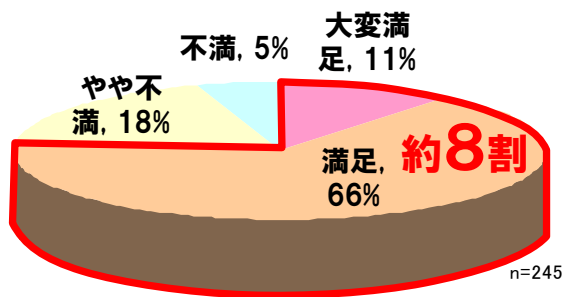


営業系企業

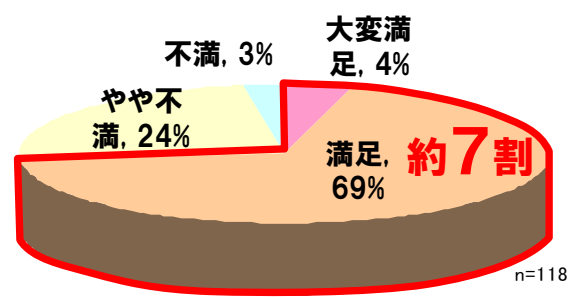


## ■静岡県内外別の満足度

県内企業

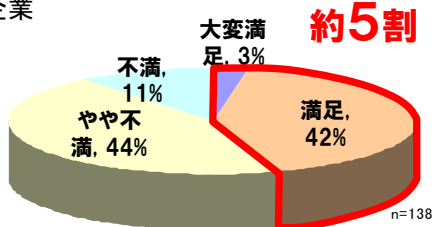


県外企業

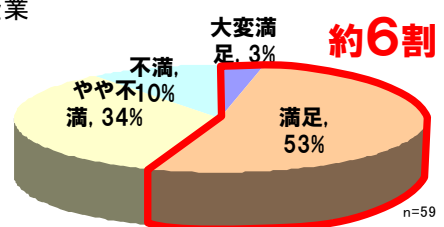


開通前の満足度結果

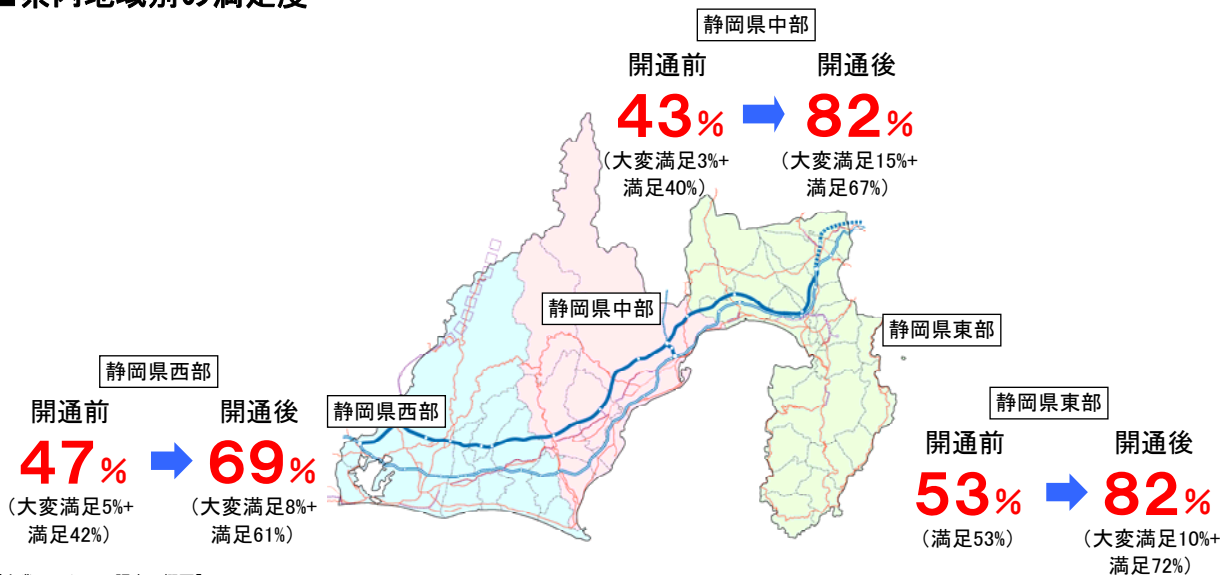
県内企業



県外企業



## ■県内地域別の満足度



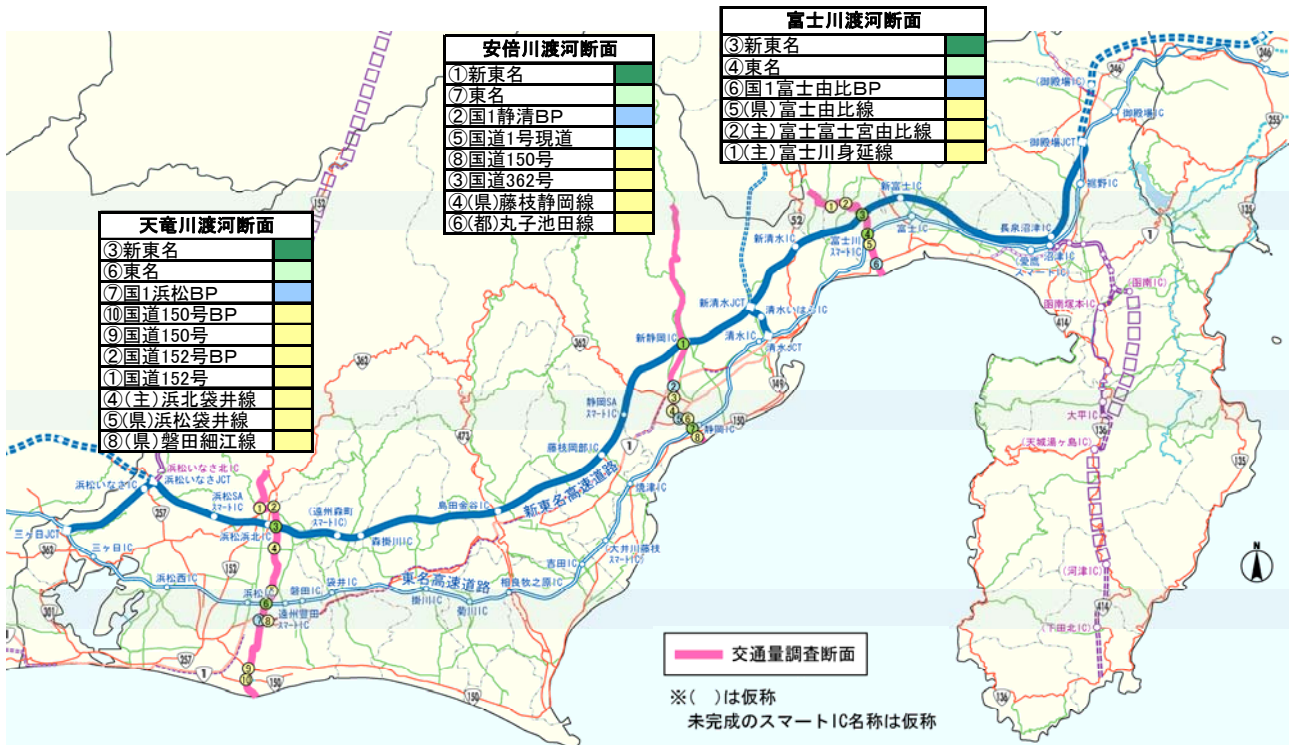
### 【企業アンケート調査の概要】

国土交通省中部地方整備局が、静岡県、愛知県、神奈川県、東京都、その他の企業（1,235社）に郵送式のアンケート調査を実施（平成24年10月中旬～11月12日締め切り）。回収は、480社（県内286社、県外168社 不明26社）、回収率39%。

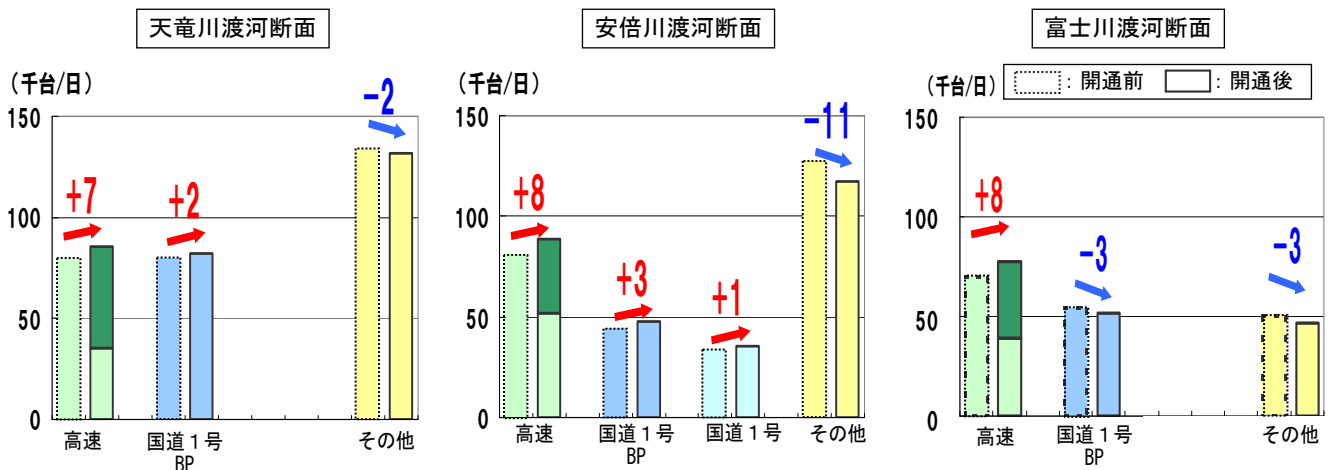
## 2. 静岡県内の断面交通量の変化

- ・ 新東名開通により県内主要断面での高速道路の交通量は7~8千台増加しました。
- ・ 断面交通量に大きな変化はなく、道路の使い方に変化として、高速道路の利用が増加し、その他道路の利用が減少傾向となっています。

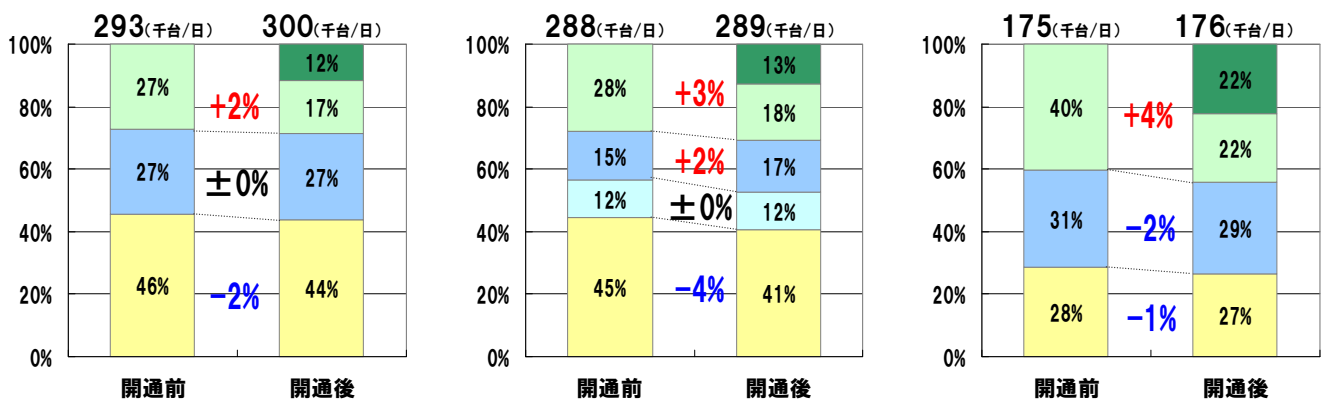
### ■断面交通量と路線分担比について



### □断面交通量



### □路線分担比



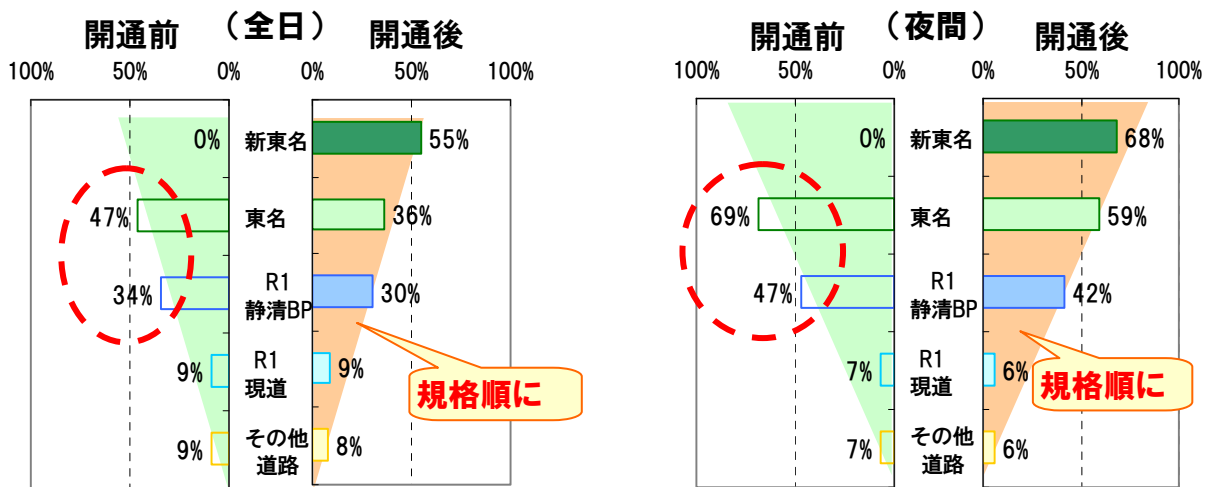
出典：国土交通省交通量計測データ  
開通前：平成23年11月15日（火）  
開通後：平成24年10月25日（木）

- ・ 静岡中心部の安倍川断面では、規格の高い新東名の大型車混入率が最も高く、東名、国道1号バイパス、国道1号、その他道路の規格順に低下しています。
- ・ 国道1号バイパスでは、大型車の県外ナンバーの割合が昼間5ポイント、夜間7ポイント減少しました。

■安倍川断面における大型車混入率と通過車籍の変化について

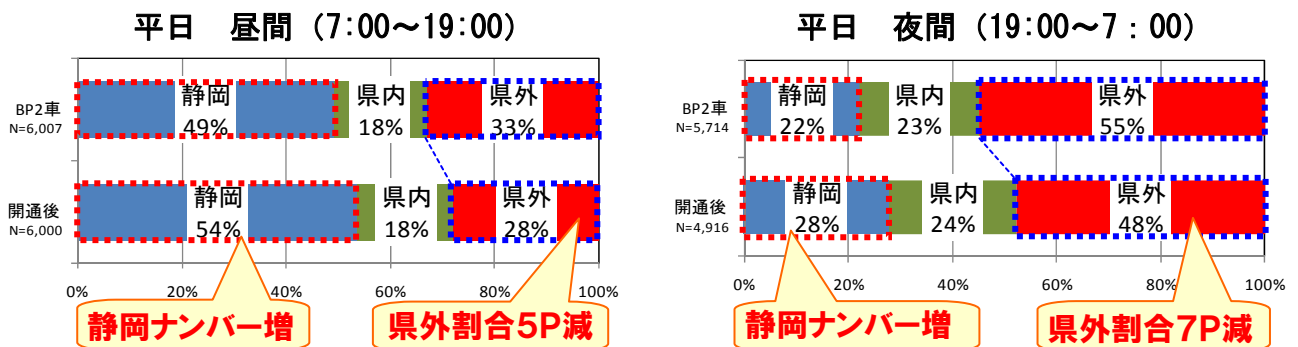


□大型車混入率（安倍川断面部）



出典：国土交通省交通量計測データ  
 開通前：平成23年11月15日（火）  
 開通後：平成24年10月25日（木）

□静岡バイパス（断面①部）

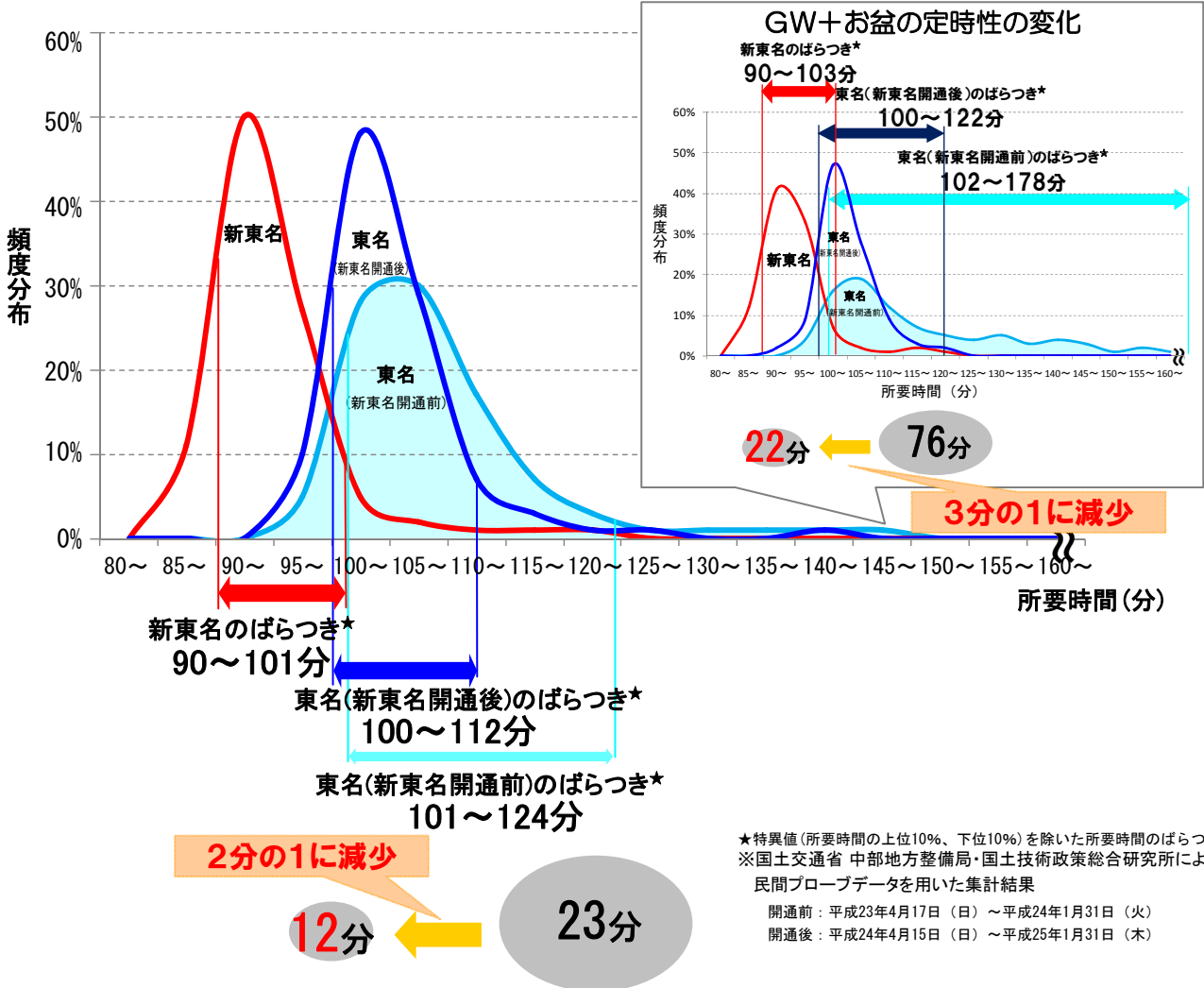


※静岡バイパス唐瀬～羽鳥間4車化：平成24年2月14日（火）、新東名開通：平成24年4月14日（土）  
 調査日 BP2車：平日 平成23年 2月17日（木）/ 休日 平成23年 2月20日（日）  
 開通後：平日 平成24年10月25日（木）/ 休日 平成24年10月21日（日）

### 3. 新東名・東名の所要時間に関する定時性

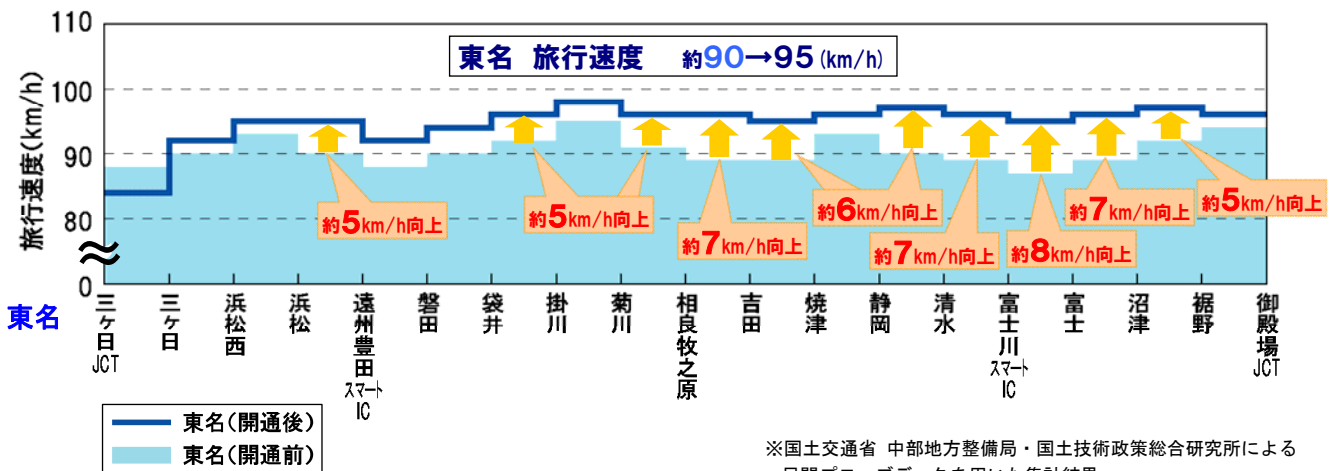
- ・ 新東名は全区間一定の速度（100km/h程度）で走行でき、東名も90km/hから95km/hに速度が向上しました。
- ・ 新東名の開通により、東名の日々の所要時間のばらつき（上位・下位10%を除いた所要時間幅）が、23分から12分に（2分の1に）減少、さらにGWやお盆には、76分から22分に（3分の1に）減少し、定時性が大幅に向上しました。

#### ■御殿場JCT～三ヶ日JCT間の所要時間の分布



★特異値(所要時間の上位10%、下位10%)を除いた所要時間のばらつき  
 ※国土交通省 中部地方整備局・国土技術政策総合研究所による民間プローブデータを用いた集計結果  
 開通前：平成23年4月17日(日)～平成24年1月31日(火)  
 開通後：平成24年4月15日(日)～平成25年1月31日(木)

#### ■東名のIC間旅行速度



※国土交通省 中部地方整備局・国土技術政策総合研究所による民間プローブデータを用いた集計結果  
 開通前：平成23年4月17日(日)～平成24年1月31日(火)  
 開通後：平成24年4月15日(日)～平成25年1月31日(木)